

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4472800343		
法人名	社会福祉法人 玖珠会		
事業所名	グループホーム 笑みの里2		
所在地	大分県玖珠郡玖珠町大隈322番地の2		
自己評価作成日	平成24年2月25日	評価結果市町村受理日	平成25年2月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた	
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号	
訪問調査日	平成24年3月19日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

風景が一望に見渡せる居室でゆったりと穏やかなひとときを自由でのびのびと生活して頂ける様に職員は研修をかさねています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・地域に案内し、グループホーム内で交流会を開き、折り紙やお話等楽しみ、馴染みの関係づくりや介護予防に取り組んでいる。
 ・30年前より年1回地域と共に災害訓練を行い、グループホームへの支援体制が整っている。
 ・ユニットごとに食事メニューを立て、食べたいものを食べやすく調理して、美味しく・楽しく・家庭的な雰囲気の中で食べている。
 ・利用者は自分のやりたいことや得意なことを好きなように、好きな空間で行い、生き活きと過ごしている。寒い季節でも中庭や室内の木や花で季節を感じられ、生活の中でリハビリができる広さがある。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で暮らしに続けるため「地域に根付いた暮らしを求めて」を理念にあげ、毎月1回の地域交流会を行ない親睦を深めています	職員で話し合い、「地域の一員として自分らしく」を追加、利用者が書道で理念を書き、見やすい壁に掲示、トイレなどの位置にも貼るなど、常に共有できるようにして、実践に取り組んでいる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	広報誌や地域交流会の案内を回覧にて、地域の中で暮らし続けるために交流の必要性を伝えています	月に1回2地区の方に案内し、ユニットごとに交代して集まってもらい、お茶飲みや行事などで楽しんでいる。地域の方のボランティア訪問もあり、漬物や野菜のおすそ分けをもらうなどの関係ができています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	防災避難訓練の住民の参加の協力、毎月1回の行事案内にて参加して頂いています		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度の運営推進会議では、評価の取り組み状況を報告し改善に向けて話し合い、サービス向上に努めています	定期的開催し、外部評価・災害対応・行事計画・利用者状況報告等を話し合っている。時節に応じて感染症や地域の情報が伝えられている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に事業所の情報提供者や広報誌を持参しています	広報紙を渡し、ホームの情報を知ってもらうようにしている。連絡や相談もしやすい関係ができています。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	園内研修会にて良く理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいます	法人内研修が計画的に開かれ、グループホームにおける身体拘束について具体的などのようなことが身体拘束となるか研修を行っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	園内研修会にて高齢者虐待防止関連法について学んでおり、職員一人ひとりが虐待を見過ごす事のないように注意している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行ない活用出来る様に支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居時には契約書・重要事項説明書を詳しく説明し、利用者や家族に十分な説明を行ない、理解・納得を図っている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会、サービス向上委員会を設けており、それらを運営に反映させ、サービス向上に努めている	春と秋に家族親睦交流を実施する際は、食事をしながら要望等を聞いている。そこで得た家族の要望や気づきを運営に反映している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長との面談や月一度の職員会議等にて、職員の意見や提案を聞く機会を設けている	施設長との面談では、職員の意見や提案を聞いている。上司に意見を伝え職員間でも話し合い、時間帯の変更や記録の書式変更等改善に取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	考課表にて個々の努力等を伝える事が出来るようにして、職員の意見を聞く機会を設けている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一度の園内研修の参加をして、職員の質の向上に努めている、法人外の研修会等にも行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県下で行なわれているグループホームの会議や勉強会に参加して、サービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の方とゆっくり話を聞き、困っていること、不安なことを感じ、安心して暮らしが出来るように努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族等から困っている事や不安なことの意向を聞き家族等の信頼関係が築ける様に努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、何が必要か見極め、他の意見も参考にして対応に努めている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者一人ひとりの支援を把握し、暮らしを共にして支えあうことが出来る関係を築ける様に努めている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とのコミュニケーションを大切にして、共に本人を支えていけるように努めている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所が途切れない様に支援に努めている	友人宅の訪問や希望の菓子店へ出かけている。毎月の交流会で馴染みの人に来てもらったり、お寺参り等馴染みの場へに行くなど支援をしている。手作り雛飾りを交流の場へ展示に出かけ、知人に会うなどの機会を設けている	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりを把握し、利用者同士が関わり合えるような支援に努めている(その時の状況に対応した見守りを行なっている)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した方で、継続的な関わりを必要とする利用者には電話で伺いを行なっている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望を聞いて意向にそえるように努めている、また困難な場合には職員全員で話し合う	本人・家族の希望や要望を聞き取り、センター方式の一部を使い、暮らしの情報・心身の状況・嬉しいこと・やりたいこと・その人らしさ等、書込みプランに反映している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを詳しく聞き、把握したうえで生活環境を整え、安心して暮らして頂ける様に努めている、		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申送りを行ない個別サービス記録に記入する等して現状の把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりの健康状況に応じて、ケア会議を行ない意見やアイデアを出し介護計画を作成している。	3ヶ月ごとに本人や家族からモニタリング、毎月の記録を基にプランのチェックを行い、会議で職員が意見を出し合い作成している。日々の支援での気づきを赤で特記し、プラン作成に反映させている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別サービス記録に様子等を記入して、情報を共有しながらケアを行なっている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の要望があれば宿泊が出来るようにして、家族や利用者が安心して頂ける様にサービスの多機能に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの訪問や地域行事に参加して楽しんで頂けるように支援している		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に回診を行ってもらっている、夜間や急変時にも対応して頂いている	入居前のかかりつけ医を受診している。専門医等は同行して、家族と連絡は取り合っている。週に4回、母体医院や協力医等複数の回診があり、健康面での連携を図っている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接された併設の看護師に日頃より状態の報告、相談を行い、健康管理・医療活用の支援をしている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時には病院に行き、出来るだけ早期に退院出来るよう情報交換や相談に努めている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期について、本人や家族と話しており、かかりつけ医と繰り返し全員で方針を共有している	入居時に話し合い、事業所としてできることや方針を説明している。本人はどのように過ごしたいか等も聞き取り記録し、状況に適した支援を話し合っている。医療機関との連携もありホーム内で週4回の回診がなされている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会において急変時の対応・感染症に対する処置等を学び訓練を行っている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に一度、防災避難訓練を行なっている、年に一度は地域住民・消防署・消防団・警察署と連携して夜間防災避難訓練を行なっている	地域と合同で70人ほどが参加して災害訓練が30年続いており、地域との協力体制ができています。夜間訓練も実施し、毎月必要に応じた防災訓練をしている。備蓄も蓄え緊急時に備えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人研修でプライバシーや尊厳について学び、利用者への声掛けや接し方に配慮している。利用者のプライドを大切に支援を行っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを取り、本人の思いを聞き自己決定が出来るよう声かけを行い、希望を表出できるよう支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの気分や体調を把握し、その日どのように過ごしたいか確認した上で希望に添えるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るよう支援している		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査や日常の会話より、本人の好みを把握し可能な限り一緒に準備や食事の片付けをしている	ユニットごとに献立を考えた調理をしている。利用者の食べたいものを食べ易く調理し、片づけや下ごしらえなど出来ることを手伝ってもらっている。職員とテーブルを囲み、家族的な雰囲気会話しながら食事をしてい	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりが食べる量、水分量を把握し、チェック確認して健康が保てるように支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じ、一部介助や声かけを行なっている、治療が必要な方は通院も行なっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行っており、個人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導の声かけを行っている	自分で排泄ができるよう、各室のトイレに必要なり八ピリパンツやパットを用意している。ケースによっては排泄パターンから声掛け誘導し、タイミングを図り、自力での排泄を促している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行っており、食物繊維・乳製品・水分を提供したり、運動への働きかけや緩下剤等の調節を行っている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望やタイミングに合わせて、いつでも入浴できるよう個々にそった支援をしている	希望により夜間入浴・毎日入浴が可能である。ゆず湯や入浴剤など楽しく、喜んで入浴できる工夫をしている。足浴や清拭など状況により対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調の把握を行っており、状況に応じて安眠や休息の支援を行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳をもとに薬について把握しており、状況の変化については看護師・かかりつけ医に相談し変化の確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を出して頂ける様に出来ることをお願いし、感謝の言葉を伝えるように心がけている、また天気の良い日にドライブやショッピングに出かけ気分転換を行っている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候の良い日は希望にそって出かけるよう支援している、入居者と家族が一緒に出かけたり、家に帰られたり、希望にそって出かけられるよう支援している	暖かい季節は散歩を自由にして、寒い季節は広いホーム内を中庭の植物を見ながら散歩している。町の公民館へ講演会に出かけたり、花見や紅葉見等出かける機会もあり、本人の意向に応じた買い物の個別支援も実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ショッピングや神社への参拝、お祭り等に出かける際は可能な限り本人がお金を所持したり使えるように支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の方達に電話をかける事への声かけの支援をしている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は一人ひとりに不快な思いをさせることなく、音量や障害物等に配慮し、植物を育てたりして居心地良く過せるような工夫をしている	各ユニットに中庭が2面もうけられ、それぞれ光や植物・季節の花等楽しんでいる。手作りカレンダー、興味の持てる雑誌があり、犬やウサギも飼育している。広い空間で好きなように活動し、いたるところに季節の花が飾られている。生活の中で運動できる空間がある	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの居場所の環境を整え、一人ひとりが自由に居心地よく過せるように努めている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、使い慣れたものを持ち込んで頂き、居心地よく過せるような工夫をしている(仏壇の設置)	その人らしい生活感のある部屋で、タンスや人形ケースなど持込み、自宅を思わせる空間となっている。仏壇や遺影も飾り家族写真なども貼って、居心地の良い部屋となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活の場にリスクがないか考慮し、居室の入口には表札を揚げ、一人ひとりのわかる力に応じ(貼り紙など工夫)暮らしやすい様な環境作りを行い、自立した生活が送れるように工夫している		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4472800343		
法人名	社会福祉法人 玖珠会		
事業所名	グループホーム 笑みの里1		
所在地	大分県玖珠郡玖珠町大隈322番地の2		
自己評価作成日	平成24年2月25日	評価結果市町村受理日	平成25年2月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号
訪問調査日	平成24年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

風景が一望に見渡せる居室でゆったりと穏やかなひとときを自由でのびのびと生活して頂ける様に職員は研修をかさねています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ユニット2と同様

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で暮らしに続けるため「地域に根付いた暮らしを求めて」を理念にあげ、毎月1回の地域交流会を行ない親睦を深めています		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	広報誌や地域交流会の案内を回覧にて、地域の中で暮らし続けるために交流の必要性を伝えています		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	防災避難訓練の住民の参加の協力、毎月の行事案内にて参加して頂いています		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度の運営推進会議では、評価の取り組み状況を報告し改善に向けて話し合い、サービス向上に努めています		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に事業所の情報提供者や広報誌を持参しています		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	園内研修会にて良く理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	園内研修会にて高齢者虐待防止関連法について学んでおり、職員一人ひとりが虐待を見過ごす事のないように注意している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行ない活用出来る様に支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居時には契約書・重要事項説明書を詳しく説明し、利用者や家族に十分な説明を行ない、理解・納得を図っている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会、サービス向上委員会を設けており、それらを運営に反映させ、サービス向上に努めている		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長との面談や月一度の職員会議等にて、職員の意見や提案を聞く機会を設けている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	考課表にて個々の努力等を伝える事が出来るようにして、職員の意見を聞く機会を設けている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一度の園内研修の参加をして、職員の質の向上に努めている、法人外の研修会等にも行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県下で行なわれているグループホームの会議や勉強会に参加して、サービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者の方とゆっくり話を聞き、困っていること、不安なことを感じ、安心して暮らしが出来るように努めている</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に家族等から困っている事や不安なことの意向を聞き家族等の信頼関係が築ける様に努めている</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、何が必要か見極め、他の意見も参考にして対応に努めている</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者一人ひとりの支援を把握し、暮らしを共にして支えあうことが出来る関係を築ける様に努めている</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とのコミュニケーションを大切にして、共に本人を支えていけるように努めている</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人や場所が途切れない様に支援に努めている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者一人ひとりを把握し、利用者同士が関わり合えるような支援に努めている(その時の状況に対応した見守りを行なっている)</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した方で、継続的な関わりを必要とする利用者には電話で伺いを行なっている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望を聞いて意向にそえるように努めている、また困難な場合には職員全員で話し合う		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを詳しく聞き、把握したうえで生活環境を整え、安心して暮らして頂ける様に努めている、		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申送りを行ない個別サービス記録に記入する等して現状の把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりの健康状況に応じて、ケア会議を行ない意見やアイデアを出し介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別サービス記録に様子等を記入して、情報を共有しながらケアを行なっている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の要望があれば宿泊が出来るようにして、家族や利用者が安心して頂ける様にサービスの多機能に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの訪問や地域行事に参加して楽しんで頂けるように支援している		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に回診を行ってもらっている、夜間や急変時にも対応して頂いている		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接された併設の看護師に日頃より状態の報告、相談を行い、健康管理・医療活用の支援をしている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時には病院に行き、出来るだけ早期に退院出来るよう情報交換や相談に努めている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期について、本人や家族と話しており、かかりつけ医と繰り返し全員で方針を共有している		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会において急変時の対応・感染症に対する処置等を学び訓練を行っている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に一度、防災避難訓練を行なっている、年に一度は地域住民・消防署・消防団・警察署と連携して夜間防災避難訓練を行なっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを取り、本人の思いを聞き自己決定が出来るよう声かけを行い、希望を表出できるよう支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの気分や体調を把握し、その日どのように過ごしたいか確認した上で希望に添えるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るよう支援している		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査や日常の会話より、本人の好みを把握し可能な限り一緒に準備や食事の片づけをしている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりが食べる量、水分量を把握し、チェック確認して健康が保てるように支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じ、一部介助や声かけを行なっている、治療が必要な方は通院も行なっている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行っており、個人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導の声かけを行っている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行っており、食物繊維・乳製品・水分を提供したり、運動への働きかけや緩下剤等の調節を行っている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望やタイミングに合わせて、いつでも入浴できるよう個々にそった支援をしている		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調の把握を行っており、状況に応じて安眠や休息の支援を行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳をもとに薬について把握しており、状況の変化については看護師・かかりつけ医に相談し変化の確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を出して頂ける様に出来ることをお願いし、感謝の言葉を伝えるように心がけている、また天気の良い日にドライブやショッピングに出かけ気分転換を行っている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候の良い日は希望にそって出かけるよう支援している、入居者と家族が一緒に出かけたり、家に帰られたり、希望にそって出かけられるよう支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ショッピングや神社への参拝、お祭り等に出かける際は可能な限り本人がお金を所持したり使えるように支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の方達に電話をかける事への声かけの支援をしている		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は一人ひとりに不快な思いをさせることなく、音量や障害物等に配慮し、植物を育てたりして居心地良く過せるような工夫をしている		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの居場所の環境を整え、一人ひとりが自由に居心地よく過せるように努めている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら、使い慣れたものを持ち込んで頂き、居心地よく過せるような工夫をしている(仏壇の設置)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活の場にリスクがないか考慮し、居室の入口には表札を揚げ、一人ひとりのわかる力に応じ(貼り紙など工夫)暮らしやすい様な環境作りを行い、自立した生活が送れるように工夫している		